

令和6年度使用  
小学校用教科用図書  
採択参考資料

家 庭

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	家庭 503
9 開隆堂	家庭 504

# 家 庭

## I 教科用図書の調査研究に当たって

### 1 調査対象教科用図書

2 東書 9 開隆堂

### 2 調査研究の観点

- (1) 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 家庭や地域との連携を図ることができるよう配慮されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 各題材の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮がなされているか。
- (4) 写真、図表、資料等が適切であり、他の題材との関連を示すなど学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。

### 3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいように配慮している。

## II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究 …………… 観点(1)～(4)
  - ① 内容別の構成
  - ② 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示
  - ③ 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例
  - ④ 題材構成数
- (2) 問題解決的な学習に関すること …………… 観点(1)
- (3) 児童や学校、地域の実態に関すること …………… 観点(2)
- (4) 各題材の構成等に関すること …………… 観点(3)
- (5) 表記や表現、資料等の工夫に関すること …………… 観点(4)

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成

	題材	小題材	頁	資料	デジタルコンテンツ	写真・図	参考資料
A 家族・家庭生活	4	12	21	8	19	21	1
(生活の課題と実践)			7	0	0	10	0
B 衣食住の生活	10	30	87	68	125	127	8
C 消費生活・環境	1	3	8	7	9	8	1
合計	15	45	123	83	153	166	10

※資料は、「資料」のマークで示す数。

※デジタルコンテンツは、「D」のマークで示す数。

※写真・図は、資料と参考資料に含まれていないものの数。

※参考資料は、「プロに聞く！」のマークで示す数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との 関連	他教科との 関連	現代的な諸課題に関する教科等 横断的な教育内容との関連	中学校との 関連	発展
A 家族・家庭生活	8	6	9	1	0
(生活の課題と実践)	8	0	0	0	0
B 衣食住の生活	119	29	65	9	1
C 消費生活・環境	6	1	2	1	2
合計	141	36	76	11	3

※A～Cのそれぞれの内容を主とする題材での数。

※他題材等との関連は、他題材ページへの「リンク」のマークで示す数。

※他教科との関連、中学校との関連は、マークで示す数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「環境」「日本の伝統」「日々の備え」のマークで示す数。

※発展は、「発展」のマークで示す数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す課題
A 家族・家庭生活	6	8、(4)	2
(生活の課題と実践)	0	0、(4)	8
B 衣食住の生活	17	37、(60)	5
C 消費生活・環境	4	1、(1)	0
合計	27	46、(69)	15

※A～Cのそれぞれの内容を主とする題材での数。

※設定課題は、「考えよう」「話し合おう」の該当箇所数。

※実践的・体験的な課題は、「調べよう」「やってみよう」「深めよう」の箇所数。( )は、手順が掲載されている実践的・体験的な事例の数。

※家庭等での実践を促す課題は、「夏休みわくわくチャレンジ!」「生活を変えるチャンス!」のページにある実践と課題の数。

(4) 題材構成数 (全 15 題材)

内容A	3	内容B	8	内容C	1	内容AB	1
内容AC	0	内容BC	2	内容ABC	0		

2 問題解決的な学習に関すること

- 教科書の全ての大題材が、「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップの問題解決的な学習の構成となっている。
- 全ての小題材に「話し合おう」「調べよう」「深めよう」等の活動が設定されている。
- 第3小題材「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」及び「活動 深めよう」では、学習内容を生活に結び付ける方法例が示されている。
- 技能を扱うページに「できたかな？」が設定されており、習得技能のポイントが示され、学習成果を確かめられるようになっている。
- 生活の課題と実践が「生活を変えるチャンス！」として設定されている他、「夏休みわくわくチャレンジ！」が2か所設けられ、学習した内容を家庭や地域での実践につなげられるようになっている。
- 全ての大題材の最初に、生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点が「家庭科の窓」として掲載されている。

3 児童や学校、地域の実態に関すること

- 活動や実習の事例が複数提示され、実態に応じて選択できるようになっている。
- 和食の特徴や地域の郷土料理、伝統文化が取り上げられている。
- 「生活の課題と実践」の実践例が進め方とともに3つ、その課題例が8つ掲載されており、地域や家族の一員として活動することを促す内容になっている。また、まとめ・発表の方法が5つ掲載されている。
- 「いつも確かめよう」により、基礎技能が確認できるようになっている。

4 各題材の構成等に関すること

- 全ての小題材の最初に学習の「めあて」、終わりに「ふり返ろう」が設けられている。
- 学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へ、児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。また、第5学年と第6学年で学んだ内容をそれぞれ振り返るページが設定されている。
- 全ての大題材の導入に、タイトル、リード文、学習の流れ、児童に身近な家庭や学校の場面の写真やイラストが掲載されている。

5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 学習指導要領で指定された題材は、A4判の紙面を生かした写真やデジタルコンテンツ等を使って学習できるようになっている。
- 巻頭では「衛生・安全に気をつけて実習をしよう」のページが設けられている。巻末では、A4判の紙面を生かし、調理実習技能、製作実習技能、プログラミング、6つの食品群、地域の料理の写真やイラストが掲載されている。
- 脚注には、家庭科に関係のある英単語と日本語表記、家庭科に関する用語が掲載されている。
- 教科書の目次等に、2年間の学習内容や学習の流れ、進め方が掲載されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 実習や製作の手順が示されているところには、横流れに手順が配置されている。

1 概括的な調査研究

(1) 内容別の構成

	題材	小題材	頁	資料	デジタルコンテンツ	写真・図	参考資料
A 家族・家庭生活	5	14	19	7	20	42	4
(生活の課題と実践)			5	0	0	6	0
B 衣食住の生活	13	39	90	56	177	242	34
C 消費生活・環境	2	6	12	5	13	25	7
合計	20	59	126	68	210	315	45

※資料は、「◎」の表示数。

※デジタルコンテンツは、「QR」のマークで示す数。

※写真・図は、資料と参考資料に含まれていないものの数。

※参考資料は、「参考」「キャリアインタビュー」のマークで示す数。

(2) 学習内容の理解や問題の解決につながる関連表示

	他題材等との 関連	他教科との 関連	現代的な諸課題に関する教科等 横断的な教育内容との関連	中学校との 関連	発展
A 家族・家庭生活	1	4	5	4	0
(生活の課題と実践)	2	0	0	0	0
B 衣食住の生活	76	21	64	9	2
C 消費生活・環境	17	0	12	3	0
合計	96	25	81	16	2

※A～Cのそれぞれの内容を主とする題材での数。

※他題材等との関連は、他題材ページへの矢印のマークで示す数。

※他教科との関連は、「関連」のマークで示す数。

※教科等横断的な教育内容との関連は、「安全」「環境」「消費」「防災」「伝統」のマークで示す数。

※中学校との関連は、「2年間の学習を中学校につなげよう」のページに記載されている数。

※発展は、「発展」のマークで示す数。

(3) 学習内容の理解や問題の解決につながる課題や事例

	設定課題	実践的・体験的な課題や事例	家庭等での実践を促す課題
A 家族・家庭生活	1	4、(5)	4
(生活の課題と実践)	0	0、(5)	5
B 衣食住の生活	18	11、(72)	13
C 消費生活・環境	4	0、(1)	2
合計	23	15、(83)	24

※A～Cのそれぞれの内容を主とする題材での数。

※設定課題は、「考えよう」「話し合おう」「見つめよう」の箇所数。

※実践的・体験的な課題は、「調べよう」「やってみよう」の箇所数。( )は、手順が掲載されている実践的・体験的な事例の数。

※家庭等での実践を促す課題は、「生かす・深める」のページにある実践と課題の数。

(4) 題材構成数 (全20題材)

内容A	5	内容B	8	内容C	2	内容AB	0
内容AC	0	内容BC	5	内容ABC	0		

2 問題解決的な学習に関すること

- 教科書の全ての大題材が、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのステップの問題解決的な学習の構成となっている。
- 全ての大題材の中に「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」等の活動が設定されている。
- 第3小題材の「生かす・深める」では、学習内容を生活に結び付ける方法例が示されている。
- 技能を扱うページには「できたかな」が設定されており、学習成果を具体的に確かめられるようになっている。
- 「生活の課題と実せん」は、ステップ1～5の順で示されており、学習した内容を家庭や地域での実践につなげられるようになっている。
- 教科書全体にわたって、生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点がマークで示されている。

3 児童や学校、地域の実態に関すること

- 活動や実習の事例が複数提示され、実態に応じて選択できるようになっている。
- 和食の特徴や地域の郷土料理、伝統文化が取り上げられている。
- 「生活の課題と実せん」の実践例を進め方とともに4つ掲載しており、地域や家族の一員として活動することを促す内容になっている。
- ★マークによって、実習例の難易度が確認できるようになっている箇所もある。

4 各題材の構成等に関すること

- 大題材の最初に「学習のめあて」、終わりに「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」が設けられている。
- 学習内容、実習内容ともに、基礎・基本から応用へ、児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。また、第5学年と第6学年の学習を中学校につなげる内容が掲載されている。
- 全ての大題材の導入に、タイトル、リード文、フォトランゲージを意識した写真やイラストが掲載されている。

5 表記や表現、資料等の工夫に関すること

- 学習指導要領で指定された題材は、A4判の紙面を生かした写真やデジタルコンテンツ等を使って学習できるようになっている。
- 環境や伝統文化に関するページが設けられている。また、巻末では、A4版の紙面を生かし、プログラミング、実習の安全と衛生、防災、調理、製作、食品の分類等に関する写真やイラストが掲載されている。
- 脚注には、家庭科に関係のある英単語と日本語表記、「豆知識」が掲載されている。
- 学習する内容が空間軸と時間軸で整理されており、2年間を通しての学習の流れや進め方が掲載されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。
- 実習や製作の手順が示されているところには、背景に色が使われており、横流れに手順が配置されている。